

昭和大学における 薬局実習指導体制について

2009.9.27(日)

昭和大学薬学部 実務実習委員会
委員長 亀井美和子(社会薬学)

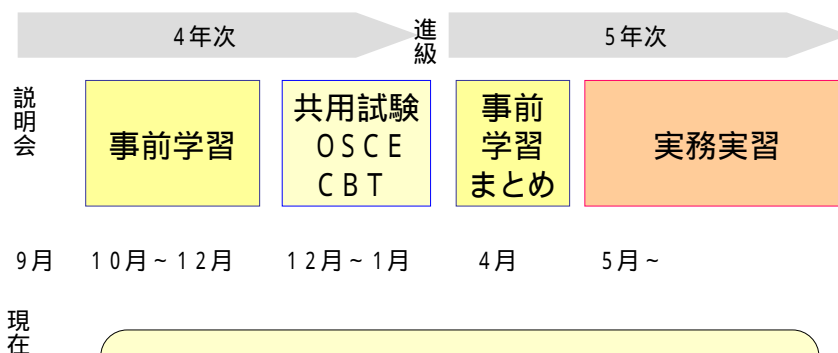
1

本日の説明内容

1. H22年度 実務実習に向けて
2. H22年度 実習施設
3. H22年度 実習の期間・時期
4. 大学の実務実習指導体制
5. 大学教員の指導・評価への関わり方
6. 連携強化に向けた取り組み

2

1. H22年度 実務実習に向けて



参加型実務実習の円滑な実施に向けて、
大学教員が薬局指導者と連携して準備・実施に
関わりたいと考えています

3

2. H22年度 実務実習実施施設

病院実習	薬局実習
昭和大学附属病院 8施設 ・昭和大学病院 ・昭和大学病院附属東病院 ・昭和大学藤が丘病院 ・昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 ・昭和大学横浜市北部病院 ・昭和大学附属豊洲病院 ・昭和大学附属烏山病院 ・昭和大学歯科病院	関東地区調整機構 153施設 ・東京都 81施設 ・神奈川県 45施設 ・埼玉県 12施設 ・千葉県 10施設 ・茨城県 5施設

実習施設には、実務実習認定指導薬剤師が1名以上配置されている
H22年度第5学年学生数（予定）は167人

4

3 . H22年度 薬局実習の期間・時期

- 実務実習モデル・コアカリキュラムに沿った実習
- GIO (一般目標)
 - 薬局の社会的役割と責任を理解し、地域医療に参画できるようにするために、保険調剤、医薬品などの供給・管理、情報提供、健康相談、医療機関や地域との関わりについての基本的な知識、技能、態度を習得する
- SBOs (到達目標)
 - 6つのユニットに計113のSBOs
- 期間 11週間
 - 1日7.5時間 (90分×5コマ)、週5日
- 参加型実習
 - 麻薬の取り扱い以外はすべて学生が実施できる

5

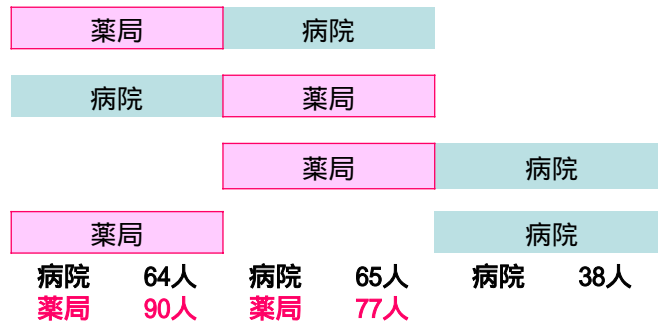
(参考) 実務実習モデル・コアカリキュラムの構成

・事前学習	
(1) 事前学習を始めるにあたって	(5) リスクマネジメント
(2) 処方せんと調剤	(6) 服薬指導と患者情報
(3) 疑義照会	(7) 事前学習のまとめ
(4) 医薬品の管理と供給	
・病院実習	
(1) 病院調剤を実践する	(4) ベッドサイドで学ぶ
(2) 医薬品を動かす・確保する	(5) 薬剤を造る・調べる
(3) 情報を正しく使う	(6) 医療人としての薬剤師
・薬局実習	
(1) 薬局アイテムと管理	(4) 薬局カウンターで学ぶ
(2) 情報のアクセスと活用	(5) 地域で活躍する薬剤師
(3) 薬局調剤を実践する	(6) 薬局業務を総合的に学ぶ

6

H22年度 薬局実習の時期

	期	期	期
病院実習 12週間	5/10～7/30	8/30～11/19	11/29～3/4 (12/26～1/9を除く)
薬局実習 11週間	5/17～7/30	9/6～11/19	-



(参考) 病院実習について

- 実習施設 1施設または2施設
- 実習期間 12週間
センター実習(3週間) + 病棟実習(8週間) + 予備(1週間)
「センター実習」では、調剤、製剤、DI等の実習が行われる
- 病棟実習では、2つの病棟で担当患者を受け持つ
- 「患者に始まり患者に終わる」実習

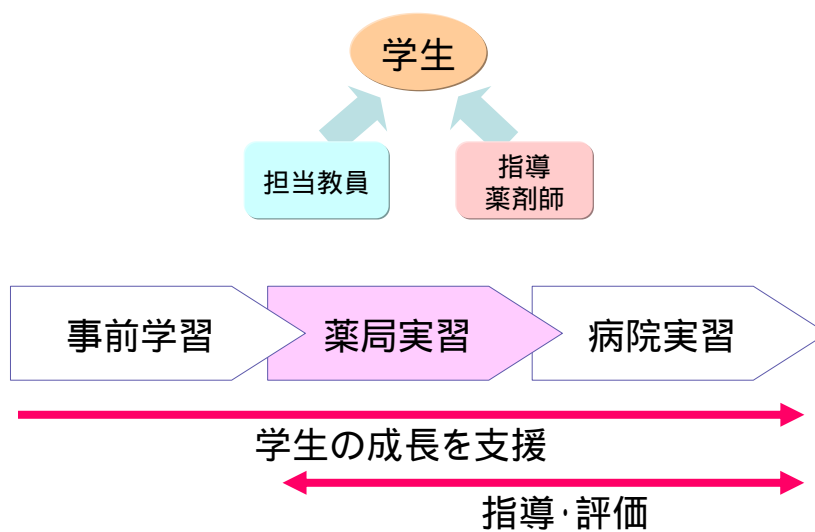
4. 大学の実務実習指導体制

- **担当教員制**
 - 学生が所属する各教室の教員が学生の指導担当者となる
 - 一人の教員が一期に担当する学生数は1～3名
- **担当教員の役割**
 - 実務実習開始前から実習終了後までの学生指導と評価
 - 実習期間中における学生および指導薬剤師からの相談応需 など

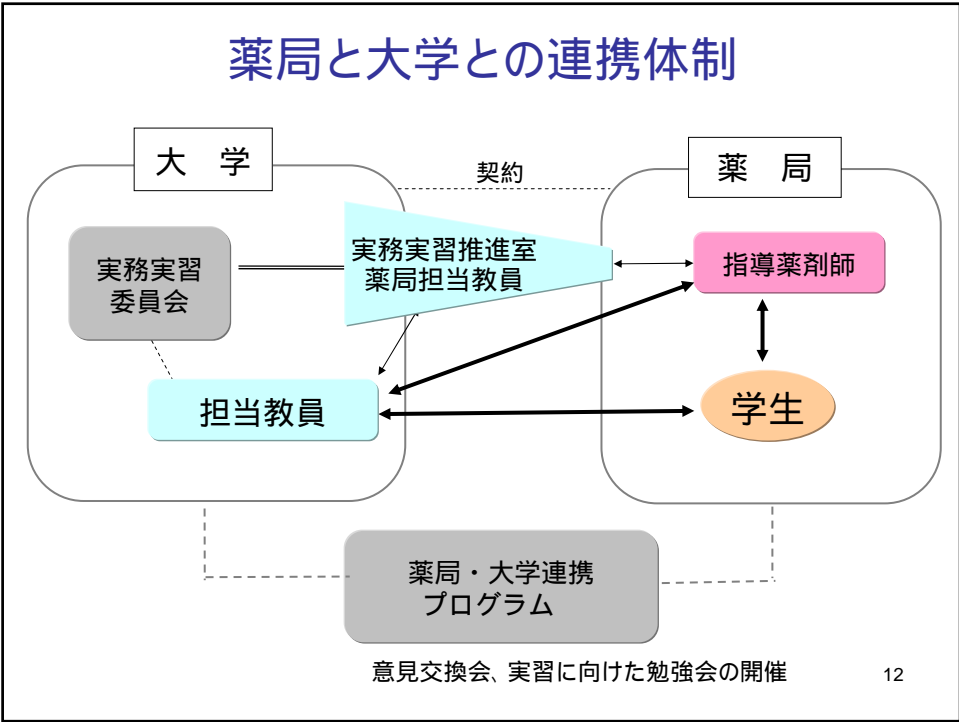
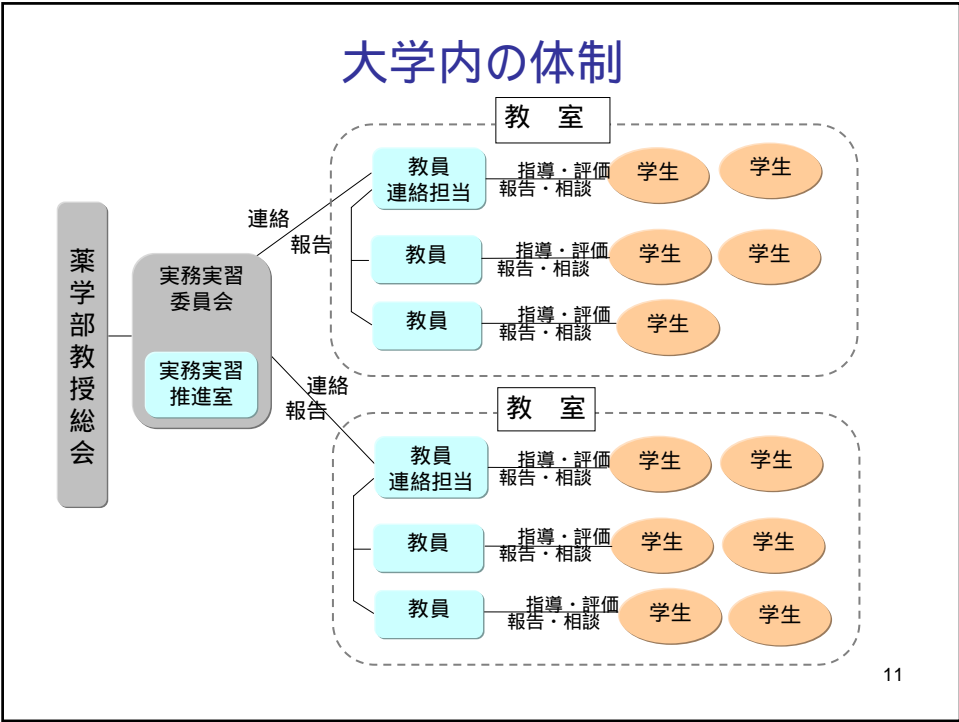
昭和大学では、全教員が学生の担当教員となり、
実務実習の指導・評価に関わります

9

担当教員制のイメージ



10



5. 大学教員の指導・評価への関わり方

	指導	評価	
		形成的	総括的
薬局 実習	指導薬剤師(薬局) 担当教員(大学)	指導薬剤師(薬局) 担当教員(大学) 学生(自己評価)	大学

大学教員が指導・評価を行うためには、
薬局指導者・学生との情報共有と
薬局訪問が不可欠です

13

訪問時期と主な目的

- **訪問時期・回数**
 - 事前訪問1回
 - 実習期間中訪問3回 (初期・中期・後期)
- **事前訪問**
 - 学生の学習状況等を指導薬剤師に情報提供
 - 実習スケジュールの把握 など
- **実習期間中の訪問**
 - 指導薬剤師・学生とミーティング
 - 実習の進捗状況、目標到達度を確認し記録 など

14

訪問時期と主な目的

実習前	実習中		
開始前 1～2ヶ月前	初期 1～2週目	中期 4～7週目	後期 10～11週目
<ul style="list-style-type: none"> ・学生の学習状況等を指導薬剤師に情報提供 ・施設の実習スケジュールの把握など 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の進捗状況・学生の目標到達度の確認と記録 ・学生の実習状況の観察と記録 ・実習スケジュールの調整など 		

学生1名につき、担当教員が計4回訪問する予定です
状況に応じて、訪問時期や回数の変更が必要となる場合があります

15

訪問時以外の連絡方法

- 電話、メール
- **Webシステムを導入予定**
 - － 実務実習指導・管理システム(富士ゼロックス)
 - － 機能
 - 実習スケジュールの作成
 - 到達目標ごとに、実施状況・評価を記録
 - サマリー・レポートの作成
 - 日誌の記録、フィードバック
 - コミュニケーション・ツール

Webシステムについては詳細が決まり次第お知らせします

16

6. 連携強化に向けた取り組み

- 実習開始までの準備
 - 実習スケジュールの作成
 - 自施設での体制整備
 - 他施設との連携体制整備
 - 実習中に学生が取り組む課題の作成
 - 実習の実施方法、評価方法の検討
 - 実習中に起こる可能性がある問題への対応
 - 教員の研修
- ほか

17

薬局実習のための 薬剤師と教員との勉強会(意見交換)

- 第1回 平成21年4月16日(木)
- 第2回 平成21年5月21日(木)
- 第3回 平成21年6月18日(木)
- 第4回 平成21年7月16日(木)
- 第5回 平成21年8月27日(木)
- 第6回 平成21年9月17日(木)
- 第7回 平成21年10月15日(木) 予定

毎月第3木曜日 19:30～21:00 に開催(原則)
場所:昭和大学旗の台校舎4号館5階 500号教室

18

勉強会で取り上げた話題

- 参加型実習を行う上での問題点は(SGD)
- 指導者用DVD試写会・感想
- 11週間のスケジュールの検討(SGD)
- 昭和大学における事前実習～事前学習の目的と内容
～(大学から紹介)
- OSCEの評価をしてみよう
- 薬局実習でこんな体験がしたい(学生が発表)

19

11週間のスケジュールの検討

		第1日目 月	第2日目 火
午前	1	P201 医療の担い手を守るべき倫理規範を遵守する。 (態度) 職務上知り得た情報について守秘義務を守る。(態度)	P104 医薬品の適正在庫とその意義を説明できる。 納入医薬品の検収を体験し、そのチェック項目 (使用期限、ロットなど)を列挙できる。薬局 におけるアイテムの管理、配列の概要を把握し、 実務を体験する。(知識・技能)
	2	薬局の見学(フリーにする)	P105 麻薬、向精神薬などの規制医薬品の取扱いにつ いて説明できる。毒物、劇物の取扱いについて 説明できる。法的な管理が義務付けられている 医薬品(麻薬、向精神薬、劇薬、毒薬、特定生物 由来製剤など)を挙げ、その保管方法を見学し、 その意義について考察する。(態度)
午後	3	P101 薬局で取り扱うアイテムが医療の中で果たす役 割について説明できる。薬局で取り扱うアイテ ムの保健・衛生、生活の質の向上に果たす役割を 説明できる。薬局アイテムの流通機構に係わる 人達の仕事を見学し、薬剤師業務と関連づけて説 明できる。	P202 医薬品の基本的な情報源(厚生労働省、日本製 薬工業協会、製薬企業、日本薬剤師会、卸など) の種類と特徴を正しく理解し、適切に選択でき る。(知識・技能) 基本的な医薬品情報(警 告、禁忌、効能、副作用、相互作用など)を収集 できる。(技能)
	4	P301 保険調剤業務の全体の流れを理解し、処方せん の受付から調剤報酬の請求までの概要を説明でき る。保険薬局として認定される条件を、薬局の 設備と関連づけて具体的に説明できる。	P205 緊急安全性情報、不良品回収、製造中止などの 緊急情報の取扱い方法を説明できる。
	5	一日目で薬局の仕事の流れが見えるように	P305 処方せんが正しく記載されていることを確認で きる。(技能) 処方せんに記載された処方薬の 妥当性を、医薬品名、分量、用法、用量、薬物相 互作用などの知識に基づいて判断できる。(知 識・技能)

20

薬局実習に期待すること(4年生)

- **色々な薬局にまわってみたい!**
例えば、実習期間内にスタイルの異なる薬局をローテーションする。
門前薬局 漢方薬局 ドラッグストア
- **調剤以外の仕事にもふれてみたい**
在宅医療への取り組み
MRとの関わり合い
卸業者との関わり合い
第一類医薬品の販売や説明
薬局製剤の販売や説明
学校薬剤師の業務

21

- **その他に希望すること**
 - 勉強会にぜひ参加したい。(希望制で参加者を集う)
 - (例)薬局経営について
 - 特定の疾病について
 - 病院で診察を受けてから処方箋が出されるまでの流れをみたい
 - 1人の患者さんと密に接したい。
 - 終わる時間を定時に決めて欲しい。
- **どんな実習にしたいか**
 - これからの薬剤師に期待できるような実習
 - 今までのイメージを変えたい
 - 夢や希望を持てるようになりたい

22

お願い

- 薬局実習に学生は期待しています！
- 学生は、参加型の実務実習に向けて、これから事前学習、共用試験に臨みます
- 5年次進級判定後、薬局訪問を開始します(期)
- 担当教員の事前訪問前に、実習スケジュールを作成して下さい
- 実習開始前に、指導薬剤師または担当教員から学生に実習スケジュールを説明します
- 相談・不明点などありましたら、大学教員にお気軽に問い合わせして下さい

23